

事業報告（第9事業年度）

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

公益社団法人 OMOIYARI プロジェクト

○事業報告

【相談業務】

- ア. 相談窓口を設け、出所者や社会不適応者が社会に適応していくための支援を行う。
・令和5年度実績：4名
- イ. 日常生活や医療費の支援
出所者等に対し、住居として本法人寮を提供し、衣類・寝具・家電・携帯電話等生活必需品や食事代・医療費の支援を実施するもの（6か月又は就職後初給与までのどちらか短い期間、理事会の承認により延長可）。また、社会復帰のために他者とのコミュニケーションを図るイベント（会食）等も行う
・令和5年度実施実績：本年度の実施はなかった
- ウ. 就労支援
社会復帰に向けた就労支援及び指導の実施。なお、必要に応じ必要な研修支援を実施する。
・令和5年度実績：2名
- エ. 就労後の支援（フォロー）就労後1年間のフォローを実施。就職者が起こした問題行動（就職先の器物の破損、家賃滞納）等に対しても一定の基準で弁済等の支援を実施する。
・令和5年度実績：1名

【財源】日本財団からの補助金及び寄付等を財源とする事業

- ア. 就労体験の提供や情報提供、就労後のサポートの提供
：仕事フォーラムの開催
・令和5年度実績：関西拠点16施設、20回実施。全国で22施設（刑事施設・少年施設）で26回実施（職親企業延べ78社参加）
※結果、6社7名の採用を実現
- イ. モデル矯正施設における職業訓練
出所間近の服役者を対象とした加古川刑務所等における職業体験や施設内職業訓練の実施
・令和5年度実績 職業体験会

建設業種の職業体験を加古川刑務所(男子収容区)で14名、理美容・介護業種の職業体験を同刑務所(女子収容区)で10名対象に建設は10日間、理美容は5日間及び介護は4日間の計19日間を職親企業17社の指導の下実施した。昨年度に比べ人員は各業種で倍となり、実施期間も増やすことができ、さらなる充実を図ることができた。昨年度は職親企業3社3日間の実施であったが、今年度は4日間、飲食業種については、播磨社会復帰促進センターで10名を対象に昨年度は職親企業3社3日間の実施であったが、今年度は4日間、職親企業4社の指導の下実施することができ、充実を図ることができた。
※上記実施のため事前調整会議等実施
- ウ. 採用者に対するサポート
採用者（出所者・主院者）に対する良質のコミュニティ形成（友達づくり）、勉強会・交流会の開催等）
・令和5年度実績：交流会1回実施（出所者・出院者7名、職親企業5社15名）
・7月23日（日）11時 バーベキュー大会を開催（大阪市淀川区）参加者22名

エ. 職親企業への支援

- ① 職親企業の入会支援（新規職親企業獲得に向けた活動）
入会手続き業務/説明会開催/入会後のフォロー/説明会チラシ作成&配布/ホームページ作成
 - ・令和5年度実績：説明会3回実施(5/24、8/31、11/30)、説明用スライド作成等（法務省近畿局からも協力あり）
 - ・加古川矯正展を協力しブース出展を行う広報活動を実施（11/18）
結果、関西職親企業は140社に増加
- ② 職親企業に対する求人支援
職親企業へのアンケートによるニーズ調査/採用面接対応支援・求人票作成支援等/動画作成/季刊誌の発行2回等の実施
 - ・令和5年度実績 季刊誌「さしいれ」発行1回
- ③ 連絡会議の開催
連絡会議・シンポジウム（講演会）の開催
 - ・令和5年度実績 連絡会議3回開催(5/24、8/31、11/30)
場所はエルセラール大阪（大阪市北区）
- ④ 職親企業に対する専門的サポート
企業向け支援者研修の実施/専門職と企業との企業間連携の構築
 - ・令和5年度は実施なし
- ⑤ その他（拠点立ち上げ支援）
拠点開設のための勉強会の実施/各支部会議の運営サポート
 - ・令和5年度実績 4支部立ち上げ
（岡山支部 9/26、福井支部 10/10、沖縄支部 10/24、東海三重支部 3/23）

以上